

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第1部門第2区分

【発行日】平成27年3月19日(2015.3.19)

【公表番号】特表2013-508001(P2013-508001A)

【公表日】平成25年3月7日(2013.3.7)

【年通号数】公開・登録公報2013-012

【出願番号】特願2012-533701(P2012-533701)

【国際特許分類】

A 6 1 L 9/14 (2006.01)

A 6 1 L 9/02 (2006.01)

G 0 1 N 27/12 (2006.01)

A 0 1 M 7/00 (2006.01)

【F I】

A 6 1 L 9/14

A 6 1 L 9/02

G 0 1 N 27/12 A

A 0 1 M 7/00 S

【誤訳訂正書】

【提出日】平成27年1月30日(2015.1.30)

【誤訳訂正1】

【訂正対象書類名】明細書

【訂正対象項目名】0 0 0 9

【訂正方法】変更

【訂正の内容】

【0 0 0 9】

本発明の第1の態様によると、少なくとも1つの空気処理剤の分配装置を動作させる方法が提供され、この分配装置は、

空気処理剤の少なくとも1つの取り外し可能容器を少なくとも部分的に内部に受け入れるように適合された内部を定める1つ又はそれ以上の壁を有するハウジングを含み、ハウジングにおける装置は、

空気中の空中物質を検出するように動作可能な空中物質検出器手段を含み、この手段には、使用中、装置の外部からの空気が空中物質検出器手段に入るのを可能にするための、装置の外部へ通じる少なくとも1つのアパーチャが設けられ、

空気処理剤の少なくとも1つの容器を受け入れるための受け入れ手段と、

使用中、ハウジング内の1つ又はそれ以上の出口オリフィスを通って、装置から空気処理剤を発散させるように適合された発散手段と、

発散手段及び空中物質検出器手段と通信状態にある制御手段と、
をさらに含み、本方法は、

制御手段が、発散手段に、使用中、一定量の空気処理剤の発散をもたらすように作動するよう命令するステップを含み、

一定量の空気処理剤の発散後、制御手段は、発散後1秒から30分までの所定期間、空中物質検出器手段を動作させないように動作可能である、
ことを特徴とする。

【誤訳訂正2】

【訂正対象書類名】明細書

【訂正対象項目名】0 0 1 1

【訂正方法】変更

【訂正の内容】

【0011】

本発明の第2の態様によると、少なくとも1つの空気処理剤の分配装置を動作させる方法が提供され、この分配装置は、

空気処理剤の少なくとも1つの取り外し可能容器を少なくとも部分的に内部に受け入れるように適合された内部を定める1つ又はそれ以上の壁を有するハウジングを含み、ハウジングにおける装置は、

空気中の空中物質を検出するように動作可能な空中物質検出器手段を含み、この手段には、使用中、装置の外部からの空気が空中物質検出器手段に入るのを可能にするための、装置の外部へ通じる少なくとも1つのアパーチャが設けられ、

空気処理剤の前記少なくとも1つの容器を受け入れるための受け入れ手段と、

使用中、ハウジング内の1つ又はそれ以上の出口オリフィスを通って、装置から空気処理剤を発散させるように適合された発散手段と、

発散手段及び空中物質検出器手段と通信状態にある制御手段と、
をさらに含み、本方法は、

制御手段が、発散手段に、使用中、一定量の空気処理剤の発散をもたらすように作動するように命令するステップを含み、

一定量の空気処理剤の発散後、制御手段は、発散後1秒から30分までの所定期間、空中物質検出器手段からの信号を無視する及び／又は退けるように動作可能である、
ことを特徴とする。

【誤訳訂正3】

【訂正対象書類名】特許請求の範囲

【訂正対象項目名】全文

【訂正方法】変更

【訂正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】

少なくとも1つの空気処理剤の分配装置を動作させる方法であって、前記分配装置は、
空気処理剤の少なくとも1つの取り外し可能容器を少なくとも部分的に内部に受け入れるように適合された内部を定める1つ又はそれ以上の壁を有するハウジングを含み、前記ハウジングにおける前記装置は、

空気中の空中物質を検出するように動作可能な空中物質検出器手段を含み、前記空中物質検出器手段には、使用中、前記装置の外部からの空気が前記空中物質検出器手段に入るのを可能にするための、前記装置の外部へ通じる少なくとも1つのアパーチャが設けられ、

空気処理剤の前記少なくとも1つの容器を受け入れるための受け入れ手段と、

使用中、前記ハウジング内の1つ又はそれ以上の出口オリフィスを通って、前記装置から前記空気処理剤を発散させるように適合された発散手段と、

前記発散手段及び前記空中物質検出器手段と通信状態にある制御手段と、
をさらに含み、前記方法は、

制御手段が、前記発散手段に、使用中、一定量の空気処理剤の発散をもたらすように作動するように命令するステップを含み、

前記一定量の空気処理剤の発散後、前記制御手段は、発散後1秒から30分までの所定期間、前記空中物質検出器手段からの信号を無視するか、又は、前記空中物質検出器手段からの信号を退けるか、又は、前記空中物質検出器手段からの信号を無視して退けるように動作可能である、
ことを特徴とする方法。

【請求項2】

前記制御手段は、発散後1秒から30分までの所定期間、前記空中物質検出器手段からの信号を無視するか、又は、前記空中物質検出器手段からの信号を退けるか、又は、前記空中物質検出器手段からの信号を無視して退けるように動作可能であることを特徴とする

、請求項 1 に記載の方法。

【請求項 3】

前記制御手段は、発散後実質的に 6 分 (+ / - 1 分) 間、前記空中物質検出器手段からの信号を無視するか、又は、前記空中物質検出器手段からの信号を退けるか、又は、前記空中物質検出器手段からの信号を無視して退けるように動作可能であることを特徴とする、請求項 1 に記載の方法。

【請求項 4】

少なくとも 1 つの空気処理剤の分配装置であって、

空気処理剤の少なくとも 1 つの取り外し可能容器を少なくとも部分的に内部に受け入れるように適合された内部を定める 1 つ又はそれ以上の壁を有するハウジングを含み、前記ハウジングにおける前記装置は、

空気中の空中物質を検出するように動作可能な空中物質検出器手段を含み、前記空中物質検出器手段には、使用中、前記装置の外部からの空気が前記空中物質検出器手段に入るのを可能にするための、前記装置の外部へ通じる少なくとも 1 つのアーチャが設けられ、

空気処理剤の前記少なくとも 1 つの容器を受け入れるための受け入れ手段と、

使用中、前記ハウジング内の 1 つ又はそれ以上の出口オリフィスを通じて、前記装置から前記空気処理剤を発散させるように適合された発散手段と、

前記発散手段及び前記空中物質検出器手段と通信状態にある制御手段とをさらに含み、

使用中、ひとたび一定量の空気処理剤が前記装置から発散されると、前記制御手段は、発散後 1 秒から 30 分までの所定期間、前記空中物質検出器手段からの信号を無視するか、又は、前記空中物質検出器手段からの信号を退けるか、又は、前記空中物質検出器手段からの信号を無視して退けるように動作可能である、ことを特徴とする分配装置。

【請求項 5】

前記空中物質検出器手段のための前記少なくとも 1 つのアーチャは、前記 1 つ又はそれ以上の出口オリフィスから離間配置されることを特徴とする、請求項 4 に記載の分配装置。

【請求項 6】

前記少なくとも 1 つのアーチャは、前記出口オリフィスのハウジング壁と実質的に垂直なハウジング壁内に配置されることを特徴とする、請求項 4 又は請求項 5 に記載の分配装置。

【請求項 7】

前記少なくとも 1 つのアーチャは、前記出口オリフィスのハウジング壁とは実質的に反対側のハウジング壁内に配置されることを特徴とする、請求項 4 又は請求項 5 に記載の分配装置。

【請求項 8】

前記空中物質検出器手段は、前記ハウジングの前記内部に存在するいずれの流体からも実質的に完全に隔離され、前記ハウジングの前記内部に存在するいずれの流体も、前記 1 つ又は複数のハウジング壁を通過して前記空中物質検出器手段により検出可能となることが実質的に完全に防止されることを特徴とする、請求項 4 又は請求項 5 に記載の分配装置。

【請求項 9】

前記ハウジングには、前記ハウジングの前記内部内に延びる、その壁内の窪んだ凹部が設けられ、前記凹部は、前記空中物質検出器手段を内部に受け入れるような大きさにされることを特徴とする、請求項 8 に記載の分配装置。

【請求項 10】

前記窪んだ凹部には、前記凹部を塞ぐような大きさにされ、かつ、前記ハウジング壁の形状又は輪郭に実質的に従うカバーが設けられ、前記カバーは少なくとも 1 つのアーチャを含むことを特徴とする、請求項 9 に記載の分配装置。

【請求項 11】

前記アーチャには、そこを通るガスの拡散を可能にしながら、前記空中物質検出器手段の粒子汚染を防止する又は実質的に防止するためのフィルター膜が設けられることを特徴とする、請求項 4 ~ 請求項 10 のいずれか 1 項に記載の分配装置。